



未来とBRIDGE (つなぐ)



安心とBRIDGE (つなぐ)



健康とBRIDGE (つなぐ)

BRIDGE LIFE Platform 構想

ブリッジ ライフ プラットフォーム 構想

「未来」「安心」「健康」「東京」「人と人」「自然」・・・
南栗橋で充実した暮らしを送るために関わりある6つの要素をつなぐ
次世代の街づくり構想



東京とBRIDGE (つなぐ)



人と人をBRIDGE (つなぐ)



自然とBRIDGE (つなぐ)

【特集1】

南栗橋から始まる新しい街のカタチ

南栗橋を次世代の街へ

市は、東武日光線南栗橋駅周辺地区において、産官学の連携により次世代の街づくりを推進するプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform（以下ブリッジライフプラットフォーム）構想」を、東武鉄道株式会社、トヨタホーム株式会社、イオンリテール株式会社、早稲田大学大学院小野田研究室と共同で策定しました。

舞台となるのは、南栗橋駅から南西約500メートルに位置する、南栗橋8丁目およびその周辺を対象とした面積約16.7ヘクタールの地区です。

コンセプトは

「BRIDGE（ブリッジ）」

この構想は、南栗橋の立地特性を生かして、「未来」「安心」「健康」「東京」「人と人」「自然」といった6つの要素をつなぐという意味で、「BRIDGE（ブリッジ）」をコンセプトにしています。

これらの要素を街づくりに取り入れることで、多くの施設・サービスが揃い、社会・自然・都市とのつながりを通じて、人々が健康で幸せに生きることのできる次世代の街づくりを進めていき、新たな生活様式を見出します。



11月10日(水)、久喜市の南栗橋駅周辺で産官学連携による街づくりを進めるため、5者協定を締結しました。

左からイオンリテール株式会社・鯉淵豊太郎執行役員、トヨタホーム株式会社・後藤裕司取締役社長、梅田修一久喜市長、東武鉄道株式会社・横田芳美執行役員、早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・小野田弘士教授

※表紙の全体開発計画CGは現地周辺の空撮写真（令和3年10月撮影）に現段階での計画内容を合成したもので実際とは異なります。また、紙面に掲載の街区イメージイラストは全体開発計画をイメージとして描き起こしたもので実際とは異なります。